



すずきしげたかじつほん きぬぶるい
鈴木重孝自筆本、絹飾 (県指定文化財)

船越の村役人であった鈴木重孝が嘉永5年(1852)完稿したもので、男鹿村々の事柄などを詳細に記録しています。これと男鹿海岸図や真山本山図も貴重な史料です。(個人蔵)



● **船越地区のあゆみ** ●

船越地区は、男鹿半島の入り口にあります。船越という地名の由来は、船越水道を挟んで対岸の天王側との間を船による渡りで結ばれていたことにちなむといわれます。江戸時代の文化11年(1814)には郡方御役所が設置されるなど、近世期男鹿の中心地でした。昭和30年に船越町から男鹿市となりました。近年は道路の整備などにより、商業地域として発展し、大勢の人々が集まり賑わいを見せています。

さんぽMAP in 船越

男鹿市教育委員会生涯学習課
 (TEL.0185-46-4110) (平22.3)

